

## 平成 27 年度 事業報告

### ◎ 概況

記念館は、1969（昭和 44）年の財団設立から一昨年 45 周年となった。一方、米山が初代理事長を務め、多くの社会事業を成してきた(財)三井報恩会は、同 80 周年となり、相合わせ小規模ながらも祝賀行事を催行しました。

本年度、特記に上げる事業はありませんが、4 月は梅吉翁没後 70 年、2018（平成 30）年は生誕 150 年、2019（平成 31）年は記念館創立 50 周年を迎えることで、3 年後の創立記念式典に向け緒に就いたところです。企画の事業は、梅吉翁に係る記念出版や 2 階展示室のリニューアル、老朽化した設備の更改等々の検討と前記の節目をとらえ、それぞれの機会に 50 周年に向けてのアピールと気運を高めてまいります。

### ◎ 秋季例祭（27 年 9 月 12 日・詳細は館報収録）

- ・ 墓参・式典
- ・ 講演  
演題 「これからの米山記念奨学会」  
講師 小沢 一彦氏（公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 理事長）
- ・ アトラクション  
マリンバ演奏 奏者 勝又里乃さん
- ・ 参加者 130 余人

### ◎ 春季例祭（28 年 4 月 23 日・詳細は館報収録）

- ・ 墓参・式典
- ・ 講演  
演題 「時を貫く記録を守る」～世界に誇る公文書館の実現に向けて～  
講師 加藤 丈夫氏（独立行政法人 国立公文書館 館長・東京 RC）
- ・ アトラクション  
紙切り作家 水口 千令さん
- ・ 参加者 120 余人

◎ ポールハリス月桂樹 三世の植樹（28年5月14日）

- ・ 米山文庫・こども図書館前庭に立つポールハリス月桂樹 二世から、三島 RC 千年の夢・千年の樹委員会が挿し木、育苗した三世の5年樹5本を寄贈いただき、記念館庭園内に植樹した。

◎ 館報の発行

例年のどおり春・秋年2回、館報を発行し、例祭案内と共に全国 RC、ロータリー関係先へ発送した。

- ・ Vol.26 秋号から誌面をリニューアルした。

世界遺産登録の葦山反射炉に係る例祭講演、梅吉翁長女愛子様のお孫 杉村正和様（東京 RC）から「藍壺俳句」や短歌集の梅吉翁直筆原稿用紙のご寄稿、35周年記念誌「米山梅吉の足音」の筆者井口賢明氏（沼津北 RC）と元三井信託銀行副社長 谷内宏文氏との対談、翁が書生として影響を受けた土居光華への書簡を所有する松阪市歴史民族資料館紹介の記事等を掲載。

- ・ Vol.27 春号はロータリー米山記念奨学会 小沢一彦理事長による例祭講演、「米山梅吉翁物語」著者 尾上悠紀子氏（元青山学院初等部教諭）及び 翁の最晩年を別邸で看護した塩津政恵氏のインタビュー記事、神戸 RC 創立時会長松方幸次郎氏の甥御、松方七郎氏（東京銀座 RC）、米山梅吉と青山学院初等部と題した初等部喜多正裕先生のご寄稿等、多彩な誌面構成となりました。

また、館報の封入・発送作業は、当地区運営委員、長泉 RC 会員等、二十数人の有志により、全国 RC、ロータリー関係者へ 2800 余部を発送しております。

編集にあたり、記事の蒐集には毎回苦心しており、今後館報のあり方を含め、誌面作りへのご意見もいただき、様々な形で多くの皆様のご協力を仰ぎたいと考えます。

◎ 入館者の推移

本年度の記念館入館者は 3600 余人、来館 RC は 124 クラブ。前年に比し 500 余人、20 クラブ多くご来館いただきました。

近年は移動例会や米山奨学生を含む地区会合等、来館者の微増傾向が見られ、9月～11月の土日などは複数のクラブからの卓話依頼も増えてきております。中でも10月の米山月間には1日に数クラブ・団体が集中することもあり、嬉しいことではありますが、小人数での対応にはなかなか厳しい現実でもあります。

## ◎ 米山文庫の状況

平成 22 年 4 月開館した米山文庫・子ども図書館は、順調に推移してきております。本年度の来館者はおよそ 7500 人、うち子どもは 3500 余人を数え、それぞれ 1700 人、600 人余と年々増加傾向にあります。読み聞かせ会ははじめ多彩なイベントも企画し、利活用の活発化が来館者の増加に寄与しているものと思います。

長泉町立図書館とタイアップし、地域の図書館としてその役割がますます増してきております。また、運営については長泉 RC 図書館運営委員会の尽力によるところが大きく、今後もその役割が期待されております。

## ◎ 広報

館報発行の他、新ホームページの立ち上げ、Facebook の運用開始、メールマガジン開設準備等、インターネットコミュニティによる広報の充実を図っております。

一方、「ロータリーの友」のご協力を得て、本年 4 月号には 4 頁にわたる米山梅吉特集を掲載。8 月号～翌 29 年 6 月号迄、11 か月にわたるシリーズ企画（500 字程度）の掲載もスタート致しました。

また、全国 34 地区ガバナーのご理解をいただき、9 月号から 29 年 6 月号まで毎号のガバナー月信へ「米山記念館便り」と称し、米山梅吉の横顔シリーズ（A4 半頁の完成データ送付）の掲載依頼をいたしました。

ロータリーの友、ガバナー月信ともに全国のロータリアン個々の手元に届くことで、広く米山梅吉記念館を印象づけることができるものと考えます。

以上のように、館報の他、あらゆる機会を活用し全国へのアピールを企画、発信に努めております。